

令和6年度 政策討論会 第一分科会（第5回）要点記録

- ・日時 令和6年11月22日（金）
- ・場所 議会会議室
- ・会議時間 10：00～11：07
- ・出席者 昼馬 光一（座長）
岩崎 雅秋（副座長）
橘川 亜紀
高比良 正明
烏野 隆生
西田 武史
松本 妙子
岸田 厚（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ：観光資源を活用した観光客の取り込みについて

1、内容

まとめに向けての方向性について話し合いを行った。

2、各議員の発言要旨

- ・本市の観光行政において改善すべき点は、PRの拡充と名物イベントの定着である。数ある観光名所であれ、現状では、とてもお客様を連れて行って喜んでもらえる所が思いつかない市民も少なく無いはず。もっと磨き上げを行い、胸を張って紹介できる魅力ある施設を作るべきである。また、競輪場においては過去にも提言されているが、スポーツツーリズムという観点から、施設を活用した取組を検討すべきである。（西田議員）
- ・イベントとして目を引くためには、これまでの価値観を破壊するようなことをしなければ注目を浴びない。これまでの価値観を大切に思う人からは反感を買う。仮に、若者が新しい価値観を創造し、人が集まり、イベントとして成功・定着すれば、否定的であった人たちも好意的な方向に向かう。「八陣の庭」の細やかな石模様は、修復可能であり、これまでも西田議員が言われたように舞台を組んだり、自由に市民が絵を描いたりするイベントは行われている。若者に人気のレゲエイベントなどを「八陣の庭」で催せば、必ず人は来る。但し、これまでのように単発でなく、毎年あるいは年に何回か行い、定着させることが、重要だと考える。（高比良議員）
- ・インターネットの検索サイトで、「岸和田観光」と検索すれば、旅行サイトの訪れたいランキングでは、「岸和田城」は上位に位置付けられているが、「だんじり会館」は下位のランク、ランクに入っていないサイトもある。その結果からも、岸和田の観光情報の発信が届

いていないように感じた。「だんじり祭」以外の日に岸和田に観光に来てもらうために、何に重点を置くのか。情報発信の工夫は何が足りないのかを明らかにすることが必要。以前の政策討論会で議論となった、スポーツツーリズムや競輪場の活用など、提言は重ならないようにするほうがいいと思う。(岸田議員)

- ・岸和田の課題について。市の見所や特色など大小アピールできるものがたくさんあるはず。市のホームページの更新を定期的に行い、新鮮さをもっとだしてはどうか。一生懸命さが市民に伝わる。いつも同じパターンに思う。(ブログなども効果的ではないか) せっかくなさんのイベント(パンダバングープロジェクトのような取組)を開催しているので、どんどんホームページ等に公開すれば、より岸和田の魅力も普及するのではないかな。(松本議員)

- ・岸和田市の観光資源として、岸和田城周辺に土・日などに食事ができるキッチンカーや屋台、また二の丸公園でのお城周辺のイベント等を定期的を実施する。(烏野議員)

- ・①城の周辺を整備して 365 日一年中を通して観光客を取り込める施策②観光資源の PR 不足という意見が多いと思います。私としては城の周辺の整備に空家を利用しての城泊・民泊と観光客を取り込むために紀州街道沿いに、みやげ屋・オシャレなカフェや食べもの屋を市が総合プロデュースしてはと考える。(岩崎副座長)

- ・これまでの討論で設定された課題である「だんじり祭のさらなる活用」と「祭り以外の観光資源の充実」について、今回の議論では十分に引き上げられず、新たに「岸和田城周辺のにぎわい強化」についての提案や「観光資源のアピール不足」が課題として挙げられた。当初設定された課題と新たな提案の関係が明確でないため、議論の焦点が曖昧になっている。また、前回の討論で提示された他市の具体策についても、検討が深まらないままである。

これらの経緯を踏まえ、課題の変更が必要なのか、あるいは、新たな提案が当初設定した課題の解決にどのように繋がるのかを具体的に整理し、明らかにすることが求められる。

特に「観光資源のアピール不足」については、理事者^{しろうへい}招聘や他市事例の議論の場で十分な検討がなされていないため、新たな情報収集と議論の方向性を整理する必要があると考える。

討論会の開始当初から「単発イベントを定期開催し名物化するべき」「点と点になっている観光資源を線にする取組が必要」との意見が出ており、必ずしも議論が深まったわけではないが、この点を掘り下げて「観光資源のアピール不足」という課題につなげる余地はあると考える。一方で、理事者の回答によれば、今年開催している天守復興 70 周年記念事業などは実証実験を兼ねたものであり、結果次第で定期開催が検討される段階にあることが示されている。また、SNS 等を活用した広報もすでに実施されていることが確認されており、既存の取組を踏まえたうえで、さらにどのような提案が可能かについて議論が進められるべきではないか。(橘川議員)

3、次回の予定

日時：12月24日（火）10時～

場所：議会会議室

内容：提言書の骨子案を基に課題解決に向けて意見を出し合う。